

長谷川祐子

月夜に、あなたを想う

本をめくるように

あなたの言葉を一つひとつ

思い出していく

満ちていき想いが募るほどに

どんな言葉で伝えたら

もつと想いを込めていたらと

答えを求めてしまう

欠けていくほどに心細くなり

答えが見つからず

立ち止まってしまう

移ろう月夜に

あなたの幸せが願えたら